

## 平成 30 年度第 1 回上野住民自治地区連合会議事録

日時：平成 30 年 7 月 17 日（火）14:00～

場所：上野東部地区市民センター3 階第 7 会議室

出席委員：19 名

（小丸委員、西出委員、東平委員、前川委員、木津委員、山口委員、今岡委員、  
國友委員、花本委員、農本委員、油屋委員、大谷委員、山岡委員、内保委員、  
森井委員、福嶋委員、松下委員、勝島委員、竹之矢委員）

欠席委員：3 名（服部委員、八尾委員、内田委員）

事務局：三枝支所長兼振興課長、福田主幹、中西

傍聴者：なし

### ○概要

#### 【事務局による進行】

#### 1. 委嘱状の交付について

- ・新任及び再任の委員に委嘱状交付

（委員からの意見・質疑応答等）

○委嘱状は、市長から直接手渡すのが本来だと思う。それを、机の上に置いているから名前を読み上げてご紹介というのはおかしい。どういうふうに考えているのか。

○委嘱状をそんないい加減なものと思われたら困る。どこでも支所長が交付しているのか。市長から回答がほしい。

○包括交付金についても、来年から減額の話があるが市長から言ってもらいたい。年度の終わりになって言われても長期的な計画が立てられない。阿山や伊賀は放っておけばいいが、上野は手本だから、ここをしっかりとしなければならない。

#### 2. 上野住民自治地区連合会の概要について

- ・資料 1「上野住民自治地区連合会及び上野地区住民自治協議会代表者会議の概要」に沿って説明

（委員からの意見・質疑応答等）

○伊賀市全体の住民自治協議会の会長の会議というのがあったが、その話はどこまで進んでいますか。

⇒【事務局回答】

昨年の進捗状況ですが、この上野の代表者会議の場で、全体の組織を作っていく方向で進めることについて賛成をいただいている状況です。そして竹之矢会長が、他の地区のそれぞれの連合会代表にお声かけいただいた結果、全体の 39 がたちまち

寄るというのは時期尚早である、代表者で定期的に話し合いを行ない、方向付けをしていただくといったご報告が昨年度末の最後の代表者会議で竹之矢会長からあったと認識しています。

### 3. 議事

#### ① 会長・副会長の互選について

選出方法について協議

- ・ 竹之矢委員より立候補の表明
- ・ 昨年度より引き続き委員に就任している者での選考委員会による選考案

協議の結果、会長については昨年度より引き続き委員に就任しているものの選考委員会による選定となる。

【選考委員会中は、他の委員は休憩】

#### ○選考委員会

【小丸委員、西出委員、前川委員、今岡委員、花本委員、山岡委員、松下委員、勝島委員、竹之矢委員】

- ・ 竹之矢委員と小丸委員が立候補。
- ・ 残りの委員による投票により、竹之矢委員が選出

#### ○委員会終了後、前川委員より上記について報告。

選考委員会として会長に竹之矢委員を推薦。

【この後は竹之矢会長による進行】

#### ○竹之矢会長より就任挨拶とともに副会長は指名したいとの提案。その場了承。

#### ○小田の西出委員が推薦され就任挨拶。

### 4. その他

#### ① 地域包括交付金第3次見直しについて

○担当課である地域づくり推進課より説明。

平成27年度よりお伝えしていた平成31年度以降の縮減について、主要な点として3点の説明

##### (1) 予算総額は最終的に総額約1億1千万円

類似団体の財政支援状況などを参考に算出

(2) 交付金の算定に用いる基準の整理と人口密度補正の設定

均等割・人口割の比重上昇、更に効率性の観点から人口密度補正を設定

(3) 縮減に対応しての支援措置

激変緩和措置として、3 年間は段階的に算定する。また、住民自治協議会への支援拡充

(委員からの意見・質疑応答等)

○久米と八幡町の住民自治協議会は、今まででもこの均等割の 65 万円は貰っていない。

この資料では、今後は同じようにそれぞれ 65 万円とあるが、間違いはないか。

⇒【地域づくり推進課回答】

そのとおりです。

○今日、資料をもらっても、すぐにはなにも出来ない。しっかり研究したいし、自治センター化の話もある。ここの会長さんたちも、そういったことをしっかり分かっていないと皆に説明しようがない。こんなもの持って帰っても誰もが目をしかめるだけです。

○各自治協へこれを持ち帰った後、様々な意見があると思いますので、その時は耳を傾けていただきたい。それから何回も申し上げるように、こういったことは市長が出てきて伝える、ということの有無で大違いなので、これも含めて是非持ち帰って検討していただきたい。

⇒【地域づくり推進課回答】

自治センターの話も含め、上席に伝えさせていただく。

○今後のことですが、各住民自治協議会の意見を聞きに回ってくれるということですか。

⇒【地域づくり推進課回答】

可能であればブロック毎に開催するのも一案だと考えている。詳細についてはこれからとなります。

○やはり市長から言っていただきたいという思いはある。私としては、日を改めてもう一度説明の機会がほしいと思います。

○提案ですが、今日こうして案をいただいたので、自治協に持ち帰り検討します。行政側としては、各自治協宛に文書を出してこの資料に対する意見とか要望を含めて一度ヒアリングをしてほしい。

○私としても、各自治協に市の担当者が出向いていただいて、資料に基づいて説明していただきたい。そして地元の方々にいろんな意見が出ると思うので、それを把握、精査していただきたい。

- 私も自治協へ来て欲しい。地区が多いのでそれだけの人を納得させるのは難しい。各区長、役員が来て市の人と話をしてほしい。
- 新人の私としては、事務局が主体となっている現状です。事務局長会議を開催して、それから各地域で協議をしてほしい。
- 昨年、市政に関する懇談会で財政が厳しいという話を聞かせていただいた。私は納得できなかったので 2 回質問したが、きちんと返事をもらっていない。その状態で、私がそれぞれの区長に説明するのはおかしい。地区まで出向いて話をしてほしい。さらに、この話は地区市民センターの今後とセットにして話すべきで、それを併せて行政はこう考えているという方向を示してもらえなければ地域として納得できない。少なくとも最初は地域を回ってほしい。
- 大勢は地域に説明に回れということです。22の地域を回れば相当時間がかかりますが。
- 以前も回ったはずです。それぐらいの市の姿勢がなければ納得できません。
- 資料の表紙に「持続可能な住民自治協議会の確立に向けて」と書いてあるが、持続不可能だと思う。
- 市長なり副市長が来て減額する理由の説明が必要。それで納得できるなら問題ない。
- 市長に言うなら、新庁舎やあの無駄な建物をのこしておくとか、そんなところへ金を使うなら他にあるのではないか。
- 市長を糾弾するとかつるし上げるということではなくて、市長か副市長かはここへ来て「この大きな問題に協力してくれ」と筋の通ったことを言わなきゃならない。
- 前に、1, 500万円だったか、ぼんと上げた。完璧にみんな選挙対策だと言っていた。そしたら今度は下げると言う。
- 3 年前、30 年までの間2, 000万円ずつ入れてプラスアルファした部分を「返せ」と言われているような数字ですよ。
- 「返せ」の理由を言ってほしい。これは金がないから返せというのは違う。
- 例えば、ここで言えば、この額は変わるのか。
- ⇒【地域づくり推進課回答】
- 変わりません。
- そんなことを言うてはいけない。理由も通ってないのに動けません。
- どこの部署かわからないが、この予算でいけるという組織改革なり機構改革なりを考えているのか。ただ単に減らしただけでやってくださいというのは、今まで無駄金を使っていたみたいになる。センターも含めてですが、機構改革など、この予算でいけるということをしてもらいたい。金だけ減らされて活動も3分の1減となるのをやれというふうにしか聞こえないから、3分の1減の予算でもこういうところに工夫をしたら今までと同じこと、または違う視点でこういうことができますよというようなことを行政から示してもらいたい。各地区を回るときにそこまで案を持ってきていただきたい。減る説明だけでなく、もっと違う観点・視点で話をしていただきたい。

○この会議の次の開催をするのか。日だけでも決めておきたい。

○基本的に各自治協を回ってもらう方向で進めてほしい。

○違う話だが、昔は審議会の一覧があって自治協全体でどの委員を務めるか協議をした。

今はどうなっているのか分からない。行政から審議会の委員がどうなっているのかで、文書を出してほしい。さらに、昔はこの連合会の他に上野地区連絡会という、仮称ですけども連絡会的なものを規約まで作っていた。私は空白期間があるので分からない。この地区連絡会はどうなっているのか。今後これらをどうするかということも、次回の検討課題にしてほしい。

○昔は全体で集まっていた。ところがいつの間にか事務局が一本釣りしている。どこで誰が委員をしているのか分からない。自治協議会の中から調整して選ばなければならないし、その為に全体的な調整会議が必要です。冒頭で事務局が触れましたが、各地区の連合会の代表と話した時に、他の連合の方は「上野に吸い取られた、固まって上野に対抗しないといけない」という空気で、違和感を持った。昔は上野以外が早く伊賀一本で作れといい、上野が及び腰だった。今は逆になっている。とにかく金がない、何も無い、という状態になってきています。この前も話題になりましたが東部が1万3千もいて再編の話が出てくる。このような大変な状態になっている。市長が委員を選出するのか、我々のような端の者が声を上げていくのか知りませんが、審議委員の件はしっかりしてほしい。

⇒【事務局回答】

審議会については住民自治協議会代表という形では選出していない形となっております。いくつかは住民自治協議会代表とそのまま残っているところもありますが、住民自治協議会代表者という選び方はしないという申し合わせがあったようです。また、審議会自体はだいぶ数を減らしています。

○そういうところが自治協軽視だと言っている。昔、伊賀市全体の組織について全体がまとまるところまでできていた。ただ、上野の東部が反対した。そして、合併して1つになったのにまた6つに分かれていくような方向にあることも事実です。今、6つが固まらないで、对上野という意識になりつつある。私は役所がそういうふうに指導したのではないかとと思っている。

⇒【事務局回答】

いずれにせよ、去年調べた記録があるので用意させていただく。

⇒以上の結果、全体の説明としては、本日（7月17日）もって行なったとし、各自治協を訪問して説明することとなる。日程の調整は事務局と行なう。

【閉会】